

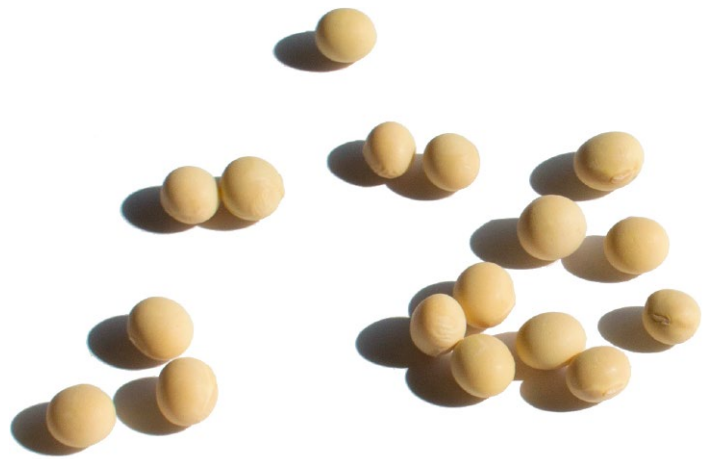
K N O
 小野澤繁雄
 布宮 慈子
 河村 郁子

月山も葉山もすでに白くしてパズルのやうな今日の緋月
 冬至過ぐる夜空にさやけき半月よ姉の黄泉路を導き給へ
 あつちでもいいんだけどもこつちでいい人がおしえてくれる近道
 12月21日 N
 12月26日 K
 12月29日 O

2018年

雪道をゆつくり抜けて融雪の歩道を行けば「よなき石」あり
 散策に近道なして笑ひしも老いゆく足に近道嬉し
 1月4日 N
 1月5日 K

壇蜜がしずかに選りし言のよさテレビの人の間に一人
 くり返し思ふことあり年賀状に書かれし言葉そのひとことを
 代筆とふ年賀状のそれぞれに思ひめぐらす書家なれば 猶
 吃逆がとまらぬ人に乗るあわせ車内はしばししずかになりぬ
 昼ごはんを母と食べれば静かにて低く聞こえる吃逆の音
 しやくりつつ急ぎ止めむと念ずれどおのれ脅かす術なきあはれ
 図書館「本が泣いています」なかに校閲をしている書き込みもある
 「100万人の年賀状展」眺めたり杜の都の文学館に
 エクセルに発送名簿を打ち終へて拙著の受け取り願ひてをりぬ
 なんとなく口さびしさに置く豆に今はいかり豆皮ごとを食む
 ガルパンソのカレーといふはやさしくてひよこ豆の顔つくづく眺む
 あざやかな黄の花咲かせ地の中に育ちしピーナッツと一粒を噛む
 1月8日 O
 1月14日 N
 1月19日 K
 1月24日 O
 1月28日 N
 2月2日 K
 2月7日 O
 2月11日 N
 2月15日 K
 2月21日 O
 2月26日 N
 3月1日 K



沼のほとりの花というとも桜まで桜からとすそこが区分で
札幌ゆ来し従姉妹らと共に食む前菜の上の桜の花を
バス停の河津櫻にはやばやと若葉茂りて春の雪受く
棒杭に並びながらも丈足らぬみつつは小鴨春の川なか
白鳥は隊列なして北へ去り羽州の田んぼ春の陽のなか

3 月 27 日	3 月 22 日	3 月 21 日	3 月 17 日	3 月 9 日
N	O	K	N	O